文 書 登 録 番 号	調査		設 計 者	検 査	者
七復第18-334号	町長	財政課長			
事業場所 七ヶ浜	町菖蒲田浜石	花渕浜 代ヶ崎浜		地内	
平成 30 年度 被	災市街地復興	土地区画整理事業防犯灯	設置工事	実施設計	十仕様書
		ГЕ	上様概要・その他		
事業費		防犯灯設置工事	合計	73	箇所
	ши	菖蒲田浜地区①	(LED·20VA)	2	箇所
金	円也	菖蒲田浜地区②	(LED·10VA)	13	箇所
エルルサイ が	m uk	花渕浜地区①(Li	ED·20VA)	6	箇所
内消費税	円也	花渕浜地区②(Li	ED·10VA)	15	箇所
		代ヶ崎浜A地区①	(LED·20VA)	6	箇所
		一 代ヶ崎浜A地区②	(LED·10VA)	6	箇所
期間		代ヶ崎浜B地区①	(LED·20VA)	8	箇所
自			(· .)	1.77	箇所
至 平成3	1年3月29日	代ヶ崎浜B地区②	(LED·10VA)	17	回/기
至 平成3	1年3月29日			17	回//
至 平成3	1年3月29日		(LED·10VA)	17	回刀
至 平成3	1年3月29日			17	回刀
至 平成3	1年3月29日			17	回刀
至 平成3	1年3月29日			17	回刀
至 平成3	1年3月29日				回刀
至 平成3	1年3月29日				回刀
至 平成3	1年3月29日			17	回刀
至 平成3	1年3月29日				回 <i>门</i>
至 平成3	1年3月29日				
至 平成3	1年3月29日				

ı

設計内訳書(本01)

工事名 平成30年度 被災市街地復興土地	F名 平成30年度 被災市街地復興土地区画整理事業防犯灯設置工事			事業区分 工事区分	電気通信設備 電気設備		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
気設備							
		式	1				
道路照明設備工							
		式	1				
道路照明設備設置工							
		式	1				
防犯灯設置(菖蒲田浜地区①)	型式(文字入力):LED防犯灯(20VA),規格(文字入力):昼白色 電柱取付						単 1号
	式 表情(文子八刀) 查日色 电往取的	箇所	2				
防犯灯設置(菖蒲田浜地区②)	型式(文字入力):LED防犯灯(10VA),規格(文字入力):昼白色 電柱取付						単 2号
	式	箇所	13				
防犯灯設置(花渕浜地区①)	型式(文字入力):LED防犯灯(20VA),規格(文字入力):昼白色 電柱取付	単 3号	単 3号				
	式	箇所	6				
防犯灯設置(花渕浜地区②)	型式(文字入力):LED防犯灯(10VA),規格(文字入力):昼白色 電柱取付						単 4号
	式	箇所	15				
防犯灯設置(代ヶ崎浜A地区①)	型式(文字入力):LED防犯灯(20VA),規格(文字入力):昼白色 電柱取付						単 5号
	式	箇所	6				
防犯灯設置(代ヶ崎浜A地区②)	型式(文字入力):LED防犯灯(10VA),規格(文字入力):昼白色 電柱取付						単 6号
	式	箇所	6				
防犯灯設置(代ヶ崎浜B地区①)	型式(文字入力):LED防犯灯(20VA),規格(文字入力):昼白色 電柱取付						単 7号
	式	箇所	8				, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
防犯灯設置(代ヶ崎浜B地区②)	型式(文字入力):LED防犯灯(10VA),規格(文字入力):昼白色 電柱取付						単 8号
	式	箇所	17				
反設工							
de NZ htt ettl ere		式	1				
交通管理工							
		式	1				

- 1 -

七ヶ浜町

設計内訳書(本01)

工事名 平成30年度 被災市街地復興土地				事業区分 工事区分	電気通信設備 電気設備		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
交通誘導警備員	A						単 9号
		人日					
交通誘導警備員	В						単 10号
		人日					
直接工事費							
		式	1				
共通仮設							
		式	1				
共通仮設費 (率計上)							
		式	1				
純工事費							
		式	1				
現場管理費							
		式	1				
工事原価							
		式	1				
一般管理費等							
		式	1				
工事価格							
		式	1				
消費税額及び地方消費税額							
		式	1				
工事費計							
		式	1				

- 2 - 七ヶ浜町

	1次単価表					
単 1号 防犯灯設置(菖蒲田浜地区①)	型式(文字入力):LED防犯灯(20VA),規格(文字入力):昼白色 電柱取付式	単位	箇所	単位数量	労務調整係数 1	単価
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
照明器具取付	照明器具取付,新設,持込					単 11号
		台	1			
LED道路照明器具 タイプa (LEDモジュール、制御装置含む)		組	1			20VA
硬質ビニル電線管 VE 22mm			8			
電線管カップ [°] リンク [*] (VE22)		m	8			
		個	1			
装柱金具 SFBT-10(ステンレスベルト)		m	6			
SLS-1 (X)		個	5			
自在バンド IBT-212		個	1			
 600Vビニル絶縁シースケーブル		7回	1			
VV-F(F) 2. 0mm 2心		m	10			
合計						
単価						円/箇所

- 3 - 七ヶ浜町

	1次単価表					
単 2号 防犯灯設置(菖蒲田浜地区②)	型式(文字入力):LED防犯灯(10VA),規格(文字入力):昼白色 電柱取付式	単位	箇所	単位数量	労務調整係数 1	単価
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
照明器具取付	照明器具取付,新設,持込					単 11号
		台	1			
LED道路照明器具 タイプb(LEDモジュール、制御装置含む)		組	1			10VA
硬質ビニル電線管 VE 22mm			8			
電線管カップ [°] リンク [*] (VE22)		m	8			
		個	1			
装柱金具 SFBT-10(ステンレスベルト)		m	6			
装柱金具						
SLS-1(ステンレスベルト締付金具)		個	5			
自在バンド IBT-212		個	1			
 600Vビニル絶縁シースケーブル		IIII	1			
VV-F(F)2.0mm 2心		m	10			1
合計]
単価						円/箇所

- 4 - 七ヶ浜町

	1次単価表					
単 3号 防犯灯設置(花渕浜地区①)	型式(文字入力):LED防犯灯 (20VA) ,規格(文字入力):昼白色 電柱取付 式	単位	箇所	単位数量	1	単価
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
照明器具取付	照明器具取付,新設,持込					単 11号
		台	1			
LED道路照明器具 タイプa(LEDモジュール、制御装置含む)		組	1			20VA
便質ビニル電線管		术且	1			
VE 22mm						
		m	8			
電線管カップ [°] リンク [*] (VE22)						
		個	1			
装柱金具 SFBT-10(ステンレスベルト)						
N+17 V B		m	6			
装柱金具 SLS-1(ステンレスベルト締付金具)						
		個	5			
自在バンド IBT-212						
151 212		個	1			
600Vビニル絶縁シースケーブル						
VV-F(F)2.0mm 2心		m	10			
合計						
ЦН						
W/m						
単価						円/箇所

	1次単価表					
単 4号 防犯灯設置(花渕浜地区②)	型式(文字入力):LED防犯灯 (10VA) ,規格(文字入力):昼白色 電柱取付 式	単位	箇所	単位数量	労務調整係数 1	単価
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
照明器具取付	照明器具取付,新設,持込					単 11号
		台	1			
LED道路照明器具 タイプb(LEDモジュール、制御装置含む)		組	1			10VA
硬質ビニル電線管 VE 22mm						
電線管カップ [°] リンク [*] (VE22)		m	8			
		個	1			
装柱金具 SFBT-10(ステンレスベルト)		120	6			
 装柱金具		m	0			
SLS-1 (ステンレスベルト締付金具)		個	5			1
自在バンド IBT-212		/177				
 600Vビニル絶縁シースケーブル		個	1			
VV-F(F)2.0mm 2心		m	10			1 1
合計						
単価						円/箇所

- 6 - 七ヶ浜町

	1次単価表					
単 5号 防犯灯設置(代ヶ崎浜A地区①)	型式(文字入力):LED防犯灯 (20VA) ,規格(文字入力):昼白色 電柱取付 式	単位	箇所	単位数量	労務調整係数 1	単価
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
照明器具取付	照明器具取付,新設,持込					単 11号
		台	1			
LED道路照明器具 タイプa(LEDモジュール、制御装置含む)		組	1			20VA
硬質ビニル電線管 VE 22mm						
電線管カップ [°] リンク [*] (VE22)		m	8			
电MX 目 N7/ 「VV (VE22)		個	1			
装柱金具 SFBT-10(ステンレスベルト)		m	6			
 装柱金具 SLS-1 (ステンレスベルト締付金具)						
		個	5			
自在バンド IBT-212		個	1			
		m	10			
合計						
単価						円/箇所

	1次単価表					
単 6号 防犯灯設置(代ヶ崎浜A地区②)	型式(文字入力):LED防犯灯(10VA),規格(文字入力):昼白色 電柱取付式	単位	箇所	単位数量	労務調整係数 1	単価
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
照明器具取付	照明器具取付,新設,持込					単 11号
		台	1			
LED道路照明器具 タイプb(LEDモジュール、制御装置含む)		組	1			10VA
		//31	1			
VE 22mm			9			
 電線管カップ゚リング(VE22)		m	8			
电冰目N// /V/ (VL22)						
		個	1			
装柱金具 SFBT-10(ステンレスベルト)		***	6			
 装柱金具		m	O			
SLS-1(ステンレスベルト締付金具)		個	5			1
自在バンド						
IBT-212		個	1			1
600Vビニル絶縁シースケーブル						
VV-F (F) 2. 0mm 2心		m	10			
合計						
単価						■ 円/箇所
事·iiii						11/ 回刀

- 8 -

七ヶ浜町

	1次単価表					
単 7号 防犯灯設置(代ヶ崎浜B地区①)	型式(文字入力):LED防犯灯 (20VA),規格(文字入力):昼白色 電柱取付式	単位	箇所	単位数量	労務調整係数 1	単価
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
照明器具取付	照明器具取付,新設,持込					単 11号
		台	1			
LED道路照明器具 タイプa (LEDモジュール、制御装置含む)		組	1			20VA
硬質ビニル電線管 VE 22mm						
電線管カップ [°] リンク [*] (VE22)		m	8			
		個	1			
装柱金具 SFBT-10(ステンレスベルト)		120	6			
 装柱金具		m	V			
SLS-1 (ステンレスベルト締付金具)		個	5			
自在バンド IBT-212		個	1			
600Vビニル絶縁シースケーブル		III	1			
VV-F(F)2.0mm 2心		m	10			
合計						
単価						円/箇所

- 9 - 七ヶ浜町

1次単価表						2018. 10 2018. 10 1. 000-00000 0. 0 0
単 8号 防犯灯設置(代ヶ崎浜B地区②)	型式(文字入力):LED防犯灯(10VA),規格(文字入力):昼白色 電柱取付式	単位	箇所	単位数量	1	単価
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
照明器具取付	照明器具取付,新設,持込					単 11号
		台	1			
LED道路照明器具 タイプb(LEDモジュール、制御装置含む)		組	1			10VA
		7,1	_			
VE 22mm		***	8			
 電線管カップリング(VE22)		m	0			
EDNG N// /V/ (1222)						
		個	1			
装柱金具 SFBT-10(ステンレスベルト)		m	6			
装柱金 具		111				
SLS-1(ステンレスベルト締付金具)		個	5			
自在バンド IBT-212						
		個	1			
600Vビニル絶縁シースケーブル VV-F(F)2.0mm 2心						
VV-F (F) 2. Omm 2/L		m	10			
H.C.						
単価						■ 円/箇所
- 平岬						11/ 回刀

- 10 - 七ヶ浜町

1次単価表					単価使用年月 歩掛適用年月 労務調整係数	2018. 10 2018. 10 1. 000-00000 0. 0 0
単 9号 交通誘導警備員	A	単位	人目	単位数量	1	単価
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員A						単 12号
		人日				
合計						
単価						円/人日

	単価使用年月 歩掛適用年月 労務調整係数	2018. 10 2018. 10 1. 000-00000 0. 0 0				
単 10号 交通誘導警備員	В	単位	人目	単位数量	1	単価
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員B						単 13号
		人目				
合計						
単価						円/人目

2次単価表 ^{照 11}									
照明器具取付,新設,持込	単位	台	単位数量	10	単価				
条件	単位	数量	単価	金額	摘要				
	λ								
	,,								
	i								
0, 岩石工の割増対象にしない, 普通,	<u></u>								
0時間, 交替制を適用しない, 0, しない, 0時間	時間								
	式	1							
					円/台				
	照明器具取付,新設,持込	照明器具取付,新設,持込 条件 単位 人 0,岩石工の割増対象にしない,普通, 0時間,交替制を適用しない,0,しない,しない,しない,0時間 時間	照明器具取付,新設,持込 単位 台 条件 単位 数量 人 人 人 の,岩石工の割増対象にしない,普通, 0時間,交替制を適用しない,0,しない,しない,しない,0時間 時間	照明器具取付,新設,持込 単位 台 単位数量	照明器具取付,新設,持込 単位 台 単位数量 10 条件 単位 数量 単価 金額 人 人 の,岩石工の割増対象にしない,普通, 0時間,交替制を適用しない,0,しない,しない,0時間 時間				

- 12 - 七ヶ浜町

	単価使用年月 歩掛適用年月 労務調整係数	2018. 10 2018. 10 1. 000-00000 0. 0 0				
単 12号 交通誘導警備員A		単位	人目	単位数量	1	単価
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員A						
		人				
合計						
単価						円/人日

	単価使用年月 歩掛適用年月 労務調整係数	2018. 10 2018. 10 1. 000-00000 0. 0 0				
単 13号 交通誘導警備員B		単位	人日	単位数量	1	単価
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員B						
		人				
合計						
単価						円/人日

一 特 記 仕 様 書 一 施 工 条 件 明 示 書

工事番号 七復第18-3 項 1 共通仕様書の適用	件	明示	i								
	34号			工事	¥名 件	平成30年度 被災市街地復興土地	也区画整理事業防犯灯設置 容		県七ヶ浜町 L 方 法	備考	
		3	本							/用 今	
			仕	様書の	記載内	容の優先は、「特記仕様書」「共道	植特記仕様書」「共通仕様書	引の順とする。	. / 🍑		
主任技術者及び監理技術		配置技術者という。)の配置							1	
(1) 現場施工に着手する (配置技術者の配置		列)	0	ある		平成 年 月 日 (「3	工程関係」に条件がない場	合は,期日以前の着	手も可能)		
※平成25年4月1日以降					೦ ಕನ	請負者が着手日を選択出来る工事(フレックス工事) 契約日から〇〇日以内					
た工事における配置技術	有の配直:	要件の特例につい	•	ない	はい						
					⊚ない	30日以内に現場施工に着手しな	:ければならない。(共通仕4	集書第1編共通編第	1章総則1-1-8)		
						こ着手する日の前日までの期間に 析者の工事現場への専任は要し		め工事現場が不稼動	であることが明確な		
						ームページ参照のこと。http://wv		kk50.htm			
工程関係										ı	
(1) 関連工事による施工	_時期の調整		•	ある	○ない	被災市街地復興土地区画整理	事業公共整備工事(代ヶ崎	浜B地区) 電柱支障科	多転完了後		
(2) 施工時期による制限	ŧ		0	ъъ	⊚ない						
(3) 関係機関等との協議	幾の未成立		•	ある	Oない	電力柱/電話柱への設置申請					
(4) 関係機関等との協議	義結果、特定	E条件の付加	0	ъъ	⊚ない						
公害対策関係											
(1) 施工方法, 機械施設	段,作業時間	引等の制限	0	ъъ	⊚ない						
安全対策関係										ı	
(1) 交通安全施設等の	指定		•	ある	Oない	施工時は交通誘導員を配置する	こと。				
(2) 占用埋設物との近接			0) as	⊚ない						
施工方法,作	業時間の制	限		~~	- 1010						
排水工関係	ul makeri.	ALME on Name of	1.	\ I	a :						
(1) 濁水,湧水処理のた	めの特別な	対策の必要性	10	ある	●ない						
建設副産物対策関係 (1)共通事項			F	記のか	1.把 • bn. 4	分は設計積算上の条件明示であり) 処理施設を指定するもの	ではかい かむ 下言	見によらかい単今は	監督職品	
(1) 不世ず恨			協	議する	こと。ま	た, 処理・処分に先立ち処分場等	の受入れの可否を確認する	ること。なお,廃棄物の	の処理に当たっては	「廃棄物の	
			理	及び消	可帰に関	する法律」を遵守すること(環境省 処理・処分する場所	*または循環型社会推進課 処理・処分方法	のHPを参照)。 距離	制限時間	l	
			T)	車田坦	内乃バコ	「事現場間で再利用する場合は, 施」				トスァレ	
(2) 建設発生土	処理・処分	 }		a a	● ない	- 7 Juliana (1717) 17 Juliana 114, ME.			時 分~	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
(3) 建設発生土以外の	処理・処分	J		_	⊕ gr			km	時分		
建設副産物	是连-龙儿	コンクリ ート塊	0) Б б	⊚ない			km	時 分		
		アスファルト塊	0	ъъ	⊚ない			km	時 分~ 時 分		
		建設発生木材	0) a a	⊚ない			km	時 分~		
									時 分~		
		建設汚泥	0	ある	⊚ない			km	時 分		
		その他(廃プラ)	0) გ გ	⊚ない			km	時 分~ 時 分		
(4) 再生材の利用			0) あ る	⊚ない	種類·数量					
工事現場のイメージアップ	r ²				_	内容					
) あ る	⊚ない	イメージアップの具体的な実施が	羽容, 実施期間については,	施工計画書に明記	し, 監督職員と協議	すること。	
品質証明						T					
(1)品質証明書および施 チェックリストの対象	画工プロセス	品質確認	0) あ る	⊚ない	請負工事費が,1億5千万円以」 土木工事共通特記仕様書第3編					
(2)施工プロセス品質確		コストの対象	0	ある	⊚ない	上記に該当せず、請負工事費が					
						土木工事共通特記仕様書第3編 土木工事共通特記仕様書第3編		実施要領によること。			
0 標準的な設計図書により1 資材関係	の発仕万八			/ ທ ອ	⊕ g(\	上小工事共进付記任保管第3種	11-1-14(-40-2.				
(1)生コンクリート						吏用に当たっては,「宮城県生コン			『理監査合格証」を有	有する工場の	
(a) ## 1 L						以上の品質管理を行っていること			tiles to the second or	Legintal mota	
(2)購入土						る場合は,材料承諾時に「採石法 出すること。		引者の与し」,又は「の	州休取法弗10条0	休取計画記	
(3)宮城県グリーン製品	の利用			必	須	1.植生基盤材等, 視線誘導標,	型枠用合板は,原則として	宮城県グリーン製品を	を用いること。		
「宮城県グリーン製品」	利用推進指	針によること。	0	ある	⊚ない	2. 盛土材,埋め戻し材					
	使用した場	合は,請負者は環	境政			3. その他()				
「宮城県グリーン製品」を			/— × − − − − − − − − − − − − − − − − − −	ある			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
「宮城県グリーン製品」を 策課HPより「チェックリス	— шь 🖂 🤊		0) a a		4. その他()				
「宮城県グリーン製品」を 策課HPより「チェックリス 量等を入力後,工事完了 ル)すること。			吹	付モル	タルに:	おける圧縮強度の規格値は, 18N	/mm2以上とする。				
「宮城県グリーン製品」を 策課HPより「チェックリス 量等を入力後,工事完了 ル)すること。 (4)現場吹付法枠工											
「宮城県グリーン製品」を 策課HPより「チェックリス 量等を入力後, 工事完了 ル)すること。 (4)現場吹付法枠工 2 その他	-1		10			1. 上工事业区标到从接事签1 经	(4 4 Oly by -).				
「宮城県グリーン製品」を 策課HPより「チェックリス 量等を入力後、工事完 T ル)すること。 (4)現場吹付法枠工 2 その他 (1)舗装の下請制限に		丁車にわける	0) გ გ	●ない	土木工事共通特記仕様書第1編 本工事は「ダンプナ砂運搬等下		費内訳調査 の対象	T.事であり、 詰負者に	は. 調査票	
「宮城県グリーン製品」を 策課HPより「チェックリス 最等を入力後、工事完了 ル)すること。 (4)現場吹付法枠工 2 その他 (1)舗装の下請制限にへ (2)「ダンプ土砂運搬等	下請を行う) ಹತ) ಹತ		土木工事共通特記仕様書第1編 本工事は「ダンプ土砂運搬等下」 に必要事項を正確に記入し発注	請を行う工事における工事	費内訳調査」の対象 砂運搬等下請負契約	工事であり、請負者に関する関係書類	は、調査票 [を提出する	
「宮城県グリーン製品」を 策課HPより「チェックリス 量等を入力後、工事完 T ル)すること。 (4)現場吹付法枠工 2 その他 (1)舗装の下請制限に	下請を行う					本工事は「ダンプ土砂運搬等下 に必要事項を正確に記入し発注 と。 請負者が本工事の一部について	請を行う工事における工事 者に提出する他、ダンプ土 下請契約を締結する場合	:砂運搬等下請負契約 には、請負者は、当記	的に関する関係書類	を提出する	
「宮城県グリーン製品」を 策課HPより「チェックリス 量等を入力後、工事完了 ル)すること。 (4)現場吹付法枠工 2 その他 (1)舗装の下請制限に~ (2)「ダンブ土砂運搬等 工事費内訳調	下請を行う					本工事は「ダンプ土砂運搬等下 に必要事項を正確に記入し発注 と。 請負者が本工事の一部について 一部に係る二次以降の下請負人	請を行う工事における工事 者に提出する他、ダンプ土 下請契約を締結する場合 を含む)も同様の義務を負	こ砂運搬等下請負契約 には、請負者は、当該 ら旨を周知すること。	的に関する関係書類 亥工事の受注者(当	iを提出する 該下請工事	
「宮城県グリーン製品」を 策課HPより「チェックリス 量等を入力後、工事完了 ル)すること。 (4) 現場吹付法枠工 2 その他 (1) 舗装の下請制限に~ (2) 「ダンブ土砂運搬等	下請を行う		0		⊚ない	本工事は「ダンブ土砂運搬等下 に必要事項を正確に記入し発注 と。 請負者が本工事の一部について一部に係る二次以降の下請負人 本工事は、工事者主前等に当該 現場の整合性の確認及び設計派	請を行う工事における工事 者に提出する他、ダンプ土 下請契約を締結する場合 。を含む)も同様の義務を負 江工事の発注者、施工者、諸 該図の伝達等を行う「三者会	こ砂運搬等下請負契約 には、請負者は、当該 ら旨を周知すること。 詳細設計等を担当した	的に関する関係書類	iを提出する 該下請工事	
「宮城県グリーン製品」を 策課HPより「チェックリス 量等を入力後、工事完了 ル)すること。 (4) 現場吹付法枠工 2 その他 (1) 舗装の下請制限に (2) 「ダンブ土砂運搬等 工事費内訳調 (3) 三者会議の対象の有	下請を行う		0) a a	⊚ない	本工事は「ダンプ土砂運搬等下」 に必要事項を正確に記入し発注 と 請負者が本工事の一部について一部に係る二次以降の下請負人 本工事は、工事着手前等に対 現場の整合性の確認及び設計、 土木工事共通特記仕様書第3編	請を行う工事における工事 者に提出する他、ダンプ土 下請契約を締結する場合 を含むりも同様の義務を負 江事の発注者、施工者、評 家図の伝達等を行う「三者会 打しているできること。	ご砂運搬等下請負契約 には、請負者は、当該 う旨を周知すること。 詳細設計等を担当した 会議」を設置する対象	的に関する関係書類	iを提出する 該下請工事	
「宮城県グリーン製品」を 策課HPよりチェックリス 量等を入り後、工事完了 小)すること。 (4) 現場吹付法枠工 2 その他 (1) 舗装の下請制限に~ (2) 「ダンブ土砂運搬等 工事費内訳調	下請を行う		0) a a	⊚ない	本工事は「ダンブ土砂運搬等下 に必要事項を正確に記入し発注 と。 請負者が本工事の一部について一部に係る二次以降の下請負人 本工事は、工事者主前等に当該 現場の整合性の確認及び設計派	請を行う工事における工事 者に提出する他、ダンプ土 下請契約を締結する場合 を含むりも同様の義務を負 江事の発注者、施工者、評 家図の伝達等を行う「三者会 打しているできること。	ご砂運搬等下請負契約 には、請負者は、当該 う旨を周知すること。 詳細設計等を担当した 会議」を設置する対象	的に関する関係書類	iを提出する 該下請工事	
「宮城県グリーン製品」を 策跳FIPより「チェックリス 量等を入り後、工事完了 ル)すること。 (4) 現場吹付法枠工 2 その他 (1) 舗装の下請制限に~ (2) 「ダンブ土砂運搬等 工事費内訳調 (3) 三者会議の対象の有無	下請を行う: 査」の対象 	の有無	0) as) as) as	● ない● ない	本工事は「ダンプ土砂運搬等下 に必要事項を正確に記入し発注 と。 請負者が本工事の一部について 一部に係る二次以降の下請負人 本工事は、工事着手前等に当該 現場の整合性の確認及び設計 土木工事共通特記仕様書第3編 本仕様書によるもののほか工事/ 貸与資料(工事監督支援業務の受注者が5	請を行う工事における工事者に提出する他、ダンプ士 者に提出する他、ダンプ士 下請契約を締結する場合、 を含む)も同様の義務を負 江事の発注者 施工者 第2図の伝達等を行う「呂者会 記 図の伝達等を行う「呂者会 記 一1 一5 によること。 値工に関して必要な資料と) 見場監督支援する場合、工	:砂運搬等下請負契約 には、請負者は、当該 う旨を周知すること。 詳細設計等を担当した 会議」を設置する対象 して工事契約後下記	的に関する関係書類	該下請工事、設計図書	
「宮城県グリーン製品」を 策課HPより「チェックリス 量等を入り後、工事完了 ル)すること。 (4) 現場吹付法枠工 2 その他 (1) 舗装の下請制限に (2) 「ダンブ土砂運搬等 工事費内訳調 (3) 三者会議の対象の有	下請を行う: 査」の対象 	の有無	0) #5) #5	● ない● ない○ ない	本工事は「グンプ土砂運搬等下」に必要事項を正確に記入し発注と。 請負者が本工事の一部について一部に係る二次以降の下請負人 本工事は、工事者手前等に当該現場の整合性の確認及び設計え 土木工事共通特記仕様書第3編 本仕様書によるもののほか工事/ 貸与資料(工事監督支援業務の受注者が受会社等名・氏名)の通知を行うこ	請を行う工事における工事者に提出する他、ダンブ土 下請契約を締結する場合 を含むりも同様の義務を負 江事の発注者 施工者 第 該図の伝達等を行う「三者会 11-1-5によること。 値工に関して必要な資料と) 見場監督支援する場合、工	砂連搬等下請負契約 には、請負者は、当該 う旨を周知すること。 学細設計等を担当した 議議」を設置する対象 して工事契約後下記 事請負者対し「工事打	的に関する関係書類 亥工事の受注者(当 ・設計者が参加して 工事である。 の資料を貸与する。 可合せ簿」により担当	を提出する 該下請工事 、設計図書 4技術者(所	
「宮城県グリーン製品」を 策課HPよりチェックリス 量等を入り後、工事完了 ル)すること。 (4) 現場吹付法枠工 2 その他 (1) 舗装の下請制限に~ (2) 「ダンブ土砂運搬等 工事費内訳調 (3) 三者会議の対象の有無	下請を行う: 計査」の対象 有無 督支援業務	の有無	0) as) as) as	● ない● ない	本工事は「ダンプ土砂運搬等下 に必要事項を正確に記入し発注 と。 請負者が本工事の一部について 一部に係る二次以降の下請負人 本工事は、工事着手前等に当該 現場の整合性の確認及び設計 土木工事共通特記仕様書第3編 本仕様書によるもののほか工事/ 貸与資料(工事監督支援業務の受注者が5	請を行う工事における工事者に提出する他、ダンプ土 者に提出する他、ダンプ土 下請契約を締結する場合。 た含む)も同様の義務を負 江事の発注者、施工者、施工者、第2図の伝達等を行う「三者会 11-1-5によること。 他工に関して必要な資料と り 世帯監督支援する場合、工 上。 則として、デジタル写真管	砂運搬等下請負契約には、請負者は、当該 う旨を周知すること。 詳細設計等を担当した 議議を設置する対象 して工事契約後下記 事請負者対し「工事打 理情報基準(衆)に基	的に関する関係書類 家工事の受注者(当 主設計者が参加して 工事である。 の資料を貸与する。 ではでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	を提出する 該下請工事 、設計図書 4技術者(所	
「宮城県グリーン製品」を 策課HPより「チェックリス 量等を入力後、工事完了 ル)すること。 (4) 現場吹付法枠工 2 その他 (1) 舗装の下請制限に (2) 「ダンプ土砂運搬等 工事費内訳調 (3) 三者会議の対象の不 (4) 貸与資料の有無 (5) 発注者支援(工事監	下請を行う う査」の対象 有無 督支援業務 の対象の有名	の有無 (5)対象の有無) ある) ある) ある) ある 負者に	●ない●ない○ない○ない○ないは、工事計	本工事は「グンプ土砂運搬等下」 に必要事項を正確に記入し発注 と。 請負者が本工事の一部について 一部に係る二次以降の下請負人 本工事は、工事着手前等に当該 現場の整合性の確認及び設計 土木工事は通替記仕帳書第38 本仕様書によるもののほか工事 貸与資料(工事監督支援業務の受注者が遅 全数で行う二 本工事の工事写真の作成は、原	請を行う工事における工事者に提出する他、ダンプ士 者に提出する他、ダンプ士 下請契約を締結する場合、 を含む)も同様の義務を負 江事の発注者 施工者 第2 図の伝達等を行う「こ者会 約1-1-5によること。 値工に関して必要な資料と) 現場監督支援する場合、工 と。 、 監督員との協議により、 いて、アジタル写真管、 、 監督員との協議により、 いて、工事実績情報	砂運搬等下請負契約 には、請負者は、当該 う旨を周知すること。 詳細設計等を担当した 議員を設置する対象 して工事契約後下記 事請負者対し「工事打 理情報基準(案)に基 従来の紙による作成	的に関する関係書類 家工事の受注者(当 上設計者が参加して 工事である。 の資料を貸与する。 「「合せ簿」により担当 づき電子とすること。 も認めることとする。	を提出する 該下請工事 、設計図書 4技術者(所 ただし,予	
「宮城県グリーン製品」を 策跳FPより「チェックリス 量等を入り後、工事完了 ル)すること。 (4) 現場吹付法枠工 2 その他 (1) 舗装の下請制限に~ (2) 「ダンブ土砂運搬等 工事費内訳調 (3) 三者会議の対象の有 (4) 貸与資料の有無 (5) 発注者支援(工事監 (6) 工事写真の電子化の	下請を行う 査」の対象 有無 督支援業務 の対象の有:	の有無 (5)対象の有無 無) ある) ある) ある) ある 負者に	●ない●ない○ない○ない○ないは、工事計	本工事は「グンプ土砂運搬等下に必要事項を正確に記入し発注 と。 請負者が本工事の一部について 一部に係る二次以降の下請負人 本工事は、工事着手前等に当該 現場の整合性の確認及び設計 土木工事共通特記仕様書第3編 本仕様書によるもののほか工事が 貸与資料(工事監督支援業務の受注者が 会社等名・氏名)の通知を行うこ。 価格が8,000万円未満の場合 請負代金額が500万円以上の工事	請を行う工事における工事者に提出する他、ダンプ土 不ご義契約を締結する場合、 と含む)も同様の義務を負 工事の発注者、施工者、施工者、 第2図の伝達等を行う「三者会 11-1-5によること。 他工に関して必要な資料と) 別場監督支援する場合、工 と。 則として、デジタル写真管 ま、監督員との協議により、 以について、工事実績情報、 録申請を行うこと。 とを目的とした試行対象工。	砂運搬等下請負契約 には、請負者は、当該 う盲を周知すること。 詳細設計等を担当した 譲渡を設置する対象 して工事契約後下記 事請負者対し「工事打 理情報基準(案)に基 従来の紙による作成 サービス(CORINS)に 事である。	的に関する関係書類 家工事の受注者(当 主設計者が参加して 工事である。 の資料を貸与する。 可合せ簿」により担当 づき電子とすること。 も認めることとする。 基づき、受注・変更	iを提出する 該下請工事 、設計図書 「技術者(所 ただし、予	

東日本大震災に伴う特例制度

東日本大震災に	半う特例制	<u> </u>							
項目		条	件	内 容	施行方法 備 考				
13 積算基準及び設計単価の適用期日 (1)積算基準及び設計単価の適用に-	ついて	಄ ಹತ	Oない	積算基準及び設計単価は公告日の前月の基準及び単価としてい	いる。				
(2)工事請負契約締結後における設計		0 88 0	⊕ t:L\	本工事は,当初工事請負契約締結後において,契約日を基準F なお,設計変更の対象は,資材単価・労務単価及び機械単価等	日として設計単価の設計変更を行うこととする。				
				なわ, 政計を更の対象は, 質材 半価・カ	FV/政計 早間とりる。				
14 被災地以外からの労働者確保に要す	る間接費の設計変更の	運用		1 本工事は、「共通仮設費(率分)のうち営繕費」及び「現場管理	費のうち労務管理費 の下記に示す費用(以下				
(1)労働者確保に関する積算方法の記	式行工事	⊙ & &		1・光上手は、デルビルのは、イ・アルシンショー等。10人とからできまりない。 「実績変更対象間接費」という。について、契約結結後、労働者 においては土木工事標準積算基準(宮城県土木部)に基づく金 合は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終精算変更 方法の工事」である。	確保に要する方策に変更が生じ、宮城県土木部 額相当では適正な工事の実施が困難になった場				
				営繕費:労働者送迎費,宿泊費,借上費 労務管理費:募集及び解散に要する費用,賃金以外の食事, 2 本工事の予定価格の算出の基礎とした設計額(宮城県土木部 出した額)における実績変更対象間接費の割合は次のとおりであ 1)共通仮設費(率分)に占める実績変更対象間接費(勞働者 2)現場管理費に占める実績変更対象間接費(募集及び解散 通動等に要する費用)の割合:	3においては,土木工事標準積算基準に基づき算 かる。 6送迎費,宿泊費,借上費)の割合: <u>0.00%</u>				
				3 受注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計多 係る費用の内訳を記載した・労働者確保に係る実績報告書様表 支払った全ての証明書類(額収書、領収書の出ないものは金額のに提出し、設計変更の内容について協議するものとする。	弐1)」及び実績変更対象間接費について実際にの適切性を証明する金額計算書など。)を監督員				
				4 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すっ 対象としない。	^さ尹田による瑁川實用については, 設計変更の				
				5 発注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計多 ついて実際に支払った額のうち証明書類において確認された費 積算基準(宮城県土木部)に基づき算出した額における実績変更 る。なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出 る。	別で、				
				6受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合につい 置を行う場合がある。 7受注者は、実績変更対象間接費にかかる設計変更について頻	,				
(2)労働者宿舎設置に関する積算方法	去の試行工事	೦ ಹತ	⊚ない	る。 本工事は、「労働者宿舎設置に関する試行要領」(以下試行要 労働者宿舎の設置を希望する場合については、「試行要領」に					
15 遠隔地からの建設資材調達に係る設	計変更								
10 延冊地がういた飲食行詞だにかる飲	川 及人	0	0.	下記の建設資材は、通常地域内から調達することを想定してい	受注者は、購入費及び輸送費を				
(1)遠隔地からの建設資材調達に係る	5.設計変更	O ಹತ		るが、安定的な確保を図るために、当該調達地域以外から調達せざるを挽ない場合には、事前に監督職員と協議するものとする。また、購入費及び輸送費に要した費用については、証明書類(契約書及び輸送費に要した費用については、証明書類(契約書及び輸送書等)と旅付するものする。なお、旅付する証明書類(契約書及び輸出書等)は原本を提示(写しの提出)とし、受注者名、納品者名、使用資材名、規格・形状、使用(納品)とし、受注者名、納品者名、使用資材名、規格・形状、使用(納品)数量等が記載されている物を監督員に提出し、その費用について設計変更することとする。 職人費の対象は、生コングリート・アスファルト合材・石材等(山砂、砕石、捨石、被覆石等)とする。 輸送費の対象は、仮設材(銅矢板等)とする。	変更したい場合は、「工事打合せ 簿に次の事項を記載し発注者に 提出し協議するものとする。 1.地域内及び基地に、建設資材 がないことを証明する資料(打合 セメモ等) 2.遠隔地から購入及び輸送する 建設資材の名称、規格及び製造 生産工場の名称(使用材料の建 設資材名及 び期格・形状等の証明資料「品質 証明」) 3.遠隔地から建設資材を購入及 び輸送する理由 4.製造・生産工場を選定した理由 5.見積もり書 6.その他、必要と思われる事項				
16 施工箇所が点在する工事の間接費の	積算		1						
(1)施工箇所が点在する工事積算方法	去の試行の対象工事	○ ಹೆತ	⊚ ない	本工事は、施工箇所が点在する工事であり、共通仮設費及び現場管理費について標準積算と施工実態に乖離が考えられるため、「○○地区(施工箇所○○、○○)、△△地区(施工箇所○○)、□□地区(施工箇所○○)(以下、対象地区という)」ごとに共通仮設費及び現場管理費を算出する「施工箇所が点在する工事積算方法の試行」の対象工事である。	本工事における共通仮設費の金 額は、対象地区毎に算出した共 通仮設費を合計した金額とする。 また、現場管理費の金額に同様 に、対象地区毎に第出した現場 管理費を合計した金額とする。な お、共通仮設費率及び現場管理 費率の補正(大都市、施工地域 等)については、対象地区毎に設 定する。				
17 その他				本工事で使用するブルドーザ(リッパ装置付きブルドーザを除く)	バックホウ ダンプトラック(建設市田が、デリニ				
(1)機械損料の補正について		O ಹತ	⊚ない	本工事で使用するノルトーサ(リッハ装置付きノルトーサを除く) クを除く)については運転1時間(日)当たりの損料に105/100 を ・本工事の施工において,調達(購入)する予定の○○の設計単	乗じている。				
(2)土砂等建設資材を供給元で引取 扱い	する場合の積算の取	೦ ಹತ	⊚ない	ただし、契約後、施工計画に基づき、〇〇の調産条件について ・資材搬入において、標準作業以外の作業(現場外の仮置き等)	異なる場合は、監督職員と協議すること。				
(3)東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等 に関する試行について		಄ ಹತ	Oない	間接工事費(共通仮設費及び現場管理費)について、工事量の増大による資材やダンプトラック等の不足による 棄効率の低下等により現場の実支出が増大し、積算基準による積算とかい離が生じていることが確認されたため 積算基準書等により各工種区分に従って対象額ごとに求めた共通仮設費率及び現場管理費率に、それぞれ以 の補正係数を乗じている。					
				補正係数 共通仮設費:1.5 現場管理費:1.2					
* 条件欄に「ある」と記入した場合は内容	、施工方法等を記入す	ること。							
特記事項									
1 追加事項1	- 子童(よから) 四キューバ	teler men al com	gy ana	関本性用二 デルル (事権デア事業に際(火が リテ))	事際報告し物業の「サイナマット				
, , , .=				図書に明示していない事項で工事の性質上当然必要なものは、工 要がある場合には監督員との協議のうえ資料作成等速やかに行う					
100				員の必要とする書類を作成すること。 法に基づく工事完了検査に立会うこととし、万が一補正指示を受	けた場合においては、請負者負担により速やかに				
(4) 垣川 補	正工事を行う。								
, ,				のうえ決定するものとする。					
(6) 追加 条件を満たす場合は、現場代理人の兼務を認める。									

平成 30 年度被災市街地復興土地区画整理事業防犯灯設置工事 特記仕様書

1. 概要

(1) 適用範囲

本特記仕様書は、東日本大震災復興交付金を財源とし、七ヶ浜町(以下「甲」という。)が発注する、平成30年度被災市街地復興土地区画整理事業防犯灯設置工事(以下「本工事」という。)について、必要事項を定めるものとする。

(2) 工事目的

本工事は、東日本大震災で壊滅的な被害を受けた菖蒲田浜地区、花渕浜地区、代ヶ崎浜A地区、 代ヶ崎浜B地区において、被災市街地復興土地区画整理事業(以下「区画整理」という。)による 市街地整備にあわせ、区画整理区域内(4地区)における防犯環境の整備と歩行者通行の安全確 保を図ることを目的とする。

(3) 工事内容

区画整理区域内(4地区)における既設及び新設予定の電柱にLED防犯灯の設置をおこなう。

(4) 工事場所

七ヶ浜町菖蒲田浜 花渕浜 代ヶ崎浜 地内

(5) 工事期限

契約日の翌日から平成31年3月29日まで

2. 設置基準・仕様等

(1)調査・計画

受注者(以下「乙」という。)は本工事の内容・主旨を把握した上で区域内全ての現地調査を実施し、施工計画書及び材料承諾書を作成し甲へ提出するものとする。

調査では以下の項目を調査するとともに、現地の既設防犯灯の設置状況が分かる写真を撮影すること。 調査結果については位置図及び調書を作成し甲へ提出すること。

- ①防犯灯設置の有無及び予定位置の確認
- ②設置方法の確認 (電柱共架・単独柱・その他)
- ③電柱種類の確認(電力・NTT・地区・その他)
- ④電柱番号の確認(共架柱の場合は両者とも確認)

- ⑤既存防犯灯の種別(LED灯・蛍光灯・水銀灯・その他)
- ⑥既存防犯灯の設置高さ(目視で概ねの高さ)
- ⑦その他調査項目については、調査実施前に甲と乙で協議の上決定すること。

(2) 設置方法

甲が設置する防犯灯は、原則として電力柱、又は電話柱へ共架するものとする。 設置前に東北電力㈱塩釜電力センター、又は㈱NTT 東日本 - 東北宮城支店に対して乙より設置申請を行う。設置申請手数料は乙の負担とする。

ただし、設置しようとする箇所に設置に適した電力柱等がない場合は、事前に乙より甲に対し 協議を行い、必要に応じて自立した鋼製ポールにより設置するものとする。

(3) 設置器具の構造基準

適合 LED 防犯灯は以下の構造を備えなければならない。

- ①LED 専用に設計された昼白色系 LED モジュールを光源とした器具(従来の蛍光灯等の器具にランプ型 LED を取り付けたものは除く。)であること。
- ②1 灯式 LED 防犯灯とする。
- ③周囲の明るさに応じて電源を切り替える電子式自動点滅器付を有するもの、又はそれと同様 の機能を内蔵するものとする。
- ④屋外環境での使用に耐えることができる構造とすること。
- ⑤器具取付部は、腐食及び振動を考慮した材質とすること。
- ⑥器具はワイヤーなどによる落下防止の対策を講じること。
- ⑦器具の眩しさ等に関する住民からの要望に対応できるよう、アームの角度可変、遮光板等の 取付けなどにより調整が可能であること。

(4) 設置器具の性能基準

適合 LED 防犯灯は以下の性能を有するものでなければならない。

- ①使用電力量が 10VA を超え 20VA 以下のものとする。
- ②防水及び防塵の浸入に対する保護等級は、IP44以上とする。
- ③概ね15年(設計寿命6万時間相当)の耐用年数を有すること。
- ④電波障害の発生を抑制するため、次の表の基準を満たすものであること。

項目	基注	準値
() () ()	周波数範囲	限度値
雑音端子電圧	$526.5 \mathrm{kHz}{\sim}5 \mathrm{MHz}$	56dB 以下
雅百 师 丁 电 庄	$5 \mathrm{MHz}{\sim}30 \mathrm{MHz}$	60dB 以下
雑音電力	30MHz~300MHz	55dB以下

⑤落雷による故障を低減するために、電源線と管体との間に 15KV のサージ電圧を加えても故

障がなく、再使用が可能であること。

⑥RBSS(優良防犯機器認定制度)適合認定を受けたものであること。

(5) 適用基準及び規格

この基準の規定によるもののほか、以下の基準及び規格に示す必要性能を満たすこと。だたし、基準及び規定事項に関し重複する項目がある場合は本基準を優先する。

- ①電気用品安全法(昭和36年法律第234号)
- ②電気設備に関する技術基準を定める省令(平成9年通商産業省令第52号)

④JIS C8105-2-3 :2011 「照明器具 - 第2-3部:道路及び街路照明器具に関する

安全性要求事項」

⑤JIS C8105-3 :2011 「照明器具 - 第 3 部:性能要求事項通則」

⑥JIS C8152-1:2012 「照明用白色発光ダイオード (LED) の測光方法」 - 第1部

LED パッケージ

⑦JIS C8152-2 :2012 「照明用白色発光ダイオード (LED) の測光方法」 - 第2部

LED モジュール及び LED ライトエンジン

(8)JIS C8153 :2009 「LED モジュール様制御装置 - 性能要求事項」

(7)JIS C8154 :2009 「一般照明用 LED モジュール - 安全仕様」

⑧JIS C8155 :2009 「一般照明用 LED モジュール - 性能要求事項」

⑨JIEG-001 :2013 照明学会 技術指針「照明設計の保守率と保守計画」第3版

⑩公害対策ガイドライン 「街路灯照明器具のガイド」 環境省 平成 18 年 12 月改訂

⑪市街地整備地区における防犯灯設置基準等 七ヶ浜町総務課防災対策室 平成26年3月作成

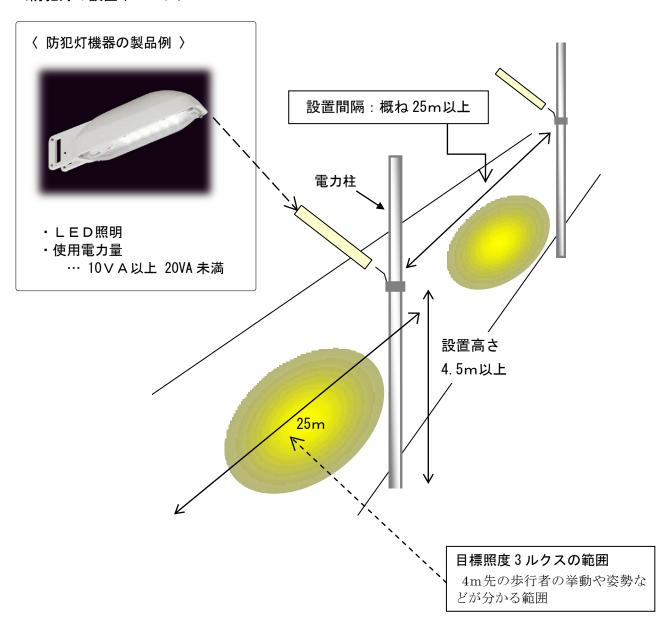
(6) 設置場所等

- ①区画整理区域内の一定以上の明るさを保つことができる場所への設置とする。
- ②設置高さは、原則として 4.5m 以上とする。(※1) ただし、第3種普通道路にあっては、 地形の状況やその他特別の理由によりやむを得ない場合においては、4.0m まで縮小できるも のとする。
- ③設置間隔は、概ね 20m とする。 ただし、設計図面を優先とする。
- ④①から③までの条件を満たす複数箇所において、いずれを廃しても、その他の箇所の条件が満たされる場合、公共施設の出入口等の公共性の高い箇所または交差点等の安全上の効果が高い箇所への設置を優先する。
- ⑤その他、周囲の建築物、道路形状等の影響で十分な効果が得られない箇所については、①から④までの条件によらず、設置することができるものとする。
 - (※1) 道路構造令第12条で示す建築限界によるもの。

〇防犯灯設置基準の概要 (考え方)

- ① 町が整備する市街地整備地区(被災市街地復興土地区画整備事業、防災集団移転促進事業、 災害公営住宅整備事業)が一定以上の明るさを保つことができる場所への設置とする。
- ② 設置高さは、原則として 4.5m以上とする。
- ③ 設置間隔は、概ね25mを基本とする。
- ④ 新たに整備する団地では、各区画の出入口に対し少なくとも25m以内に一灯を設置する。
- ⑤ アクセス道路内にあっては、設置間隔を30m以上40m程度とする。
- ⑥ ①から⑤までの条件を満たす複数箇所において、いずれを廃しても、その他の箇所の条件が満たされる場合、公共施設の出入口等の公共性の高い箇所または交差点等の安全上の効果が高い箇所への設置を優先とする。

<防犯灯の設置イメージ>

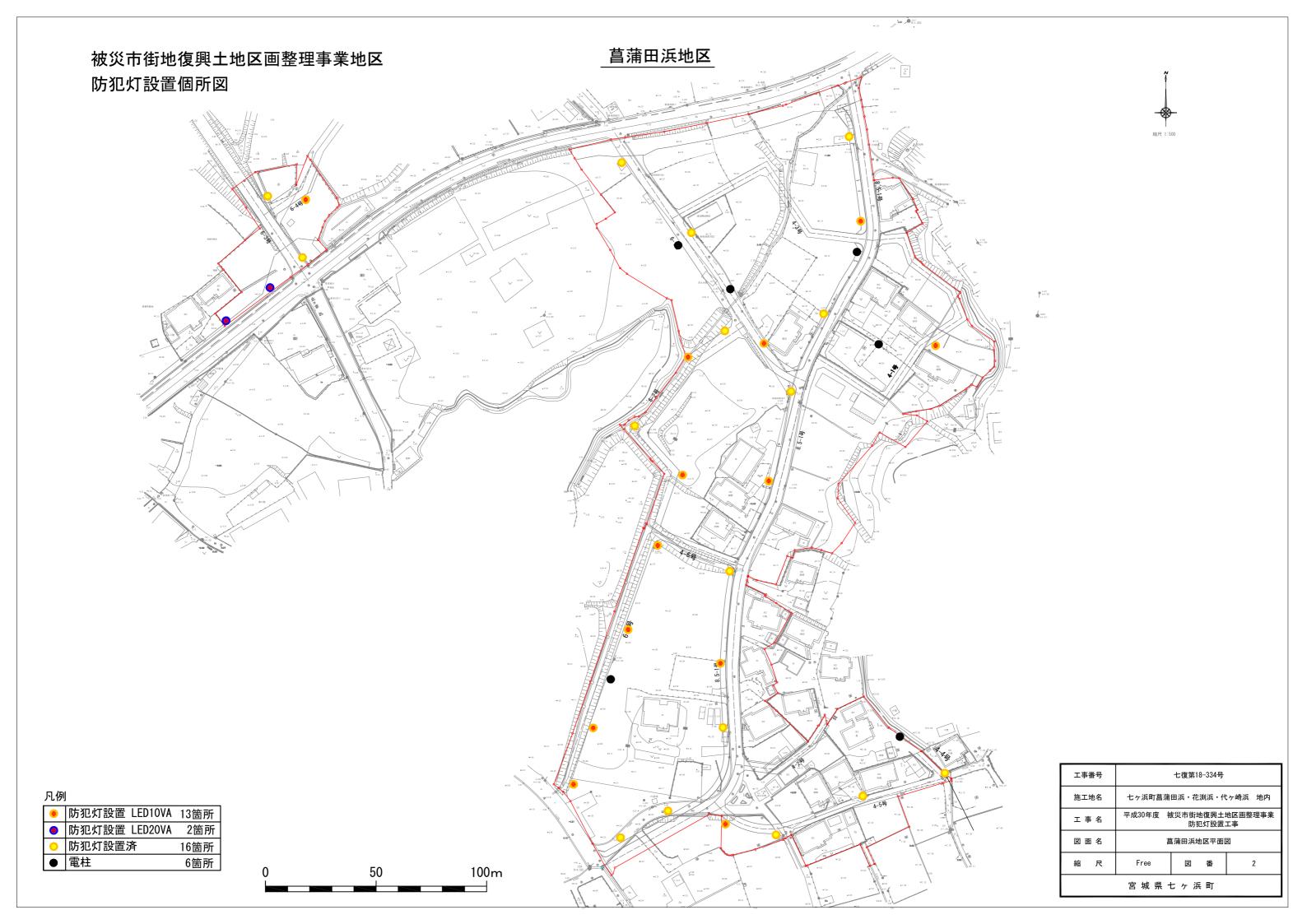


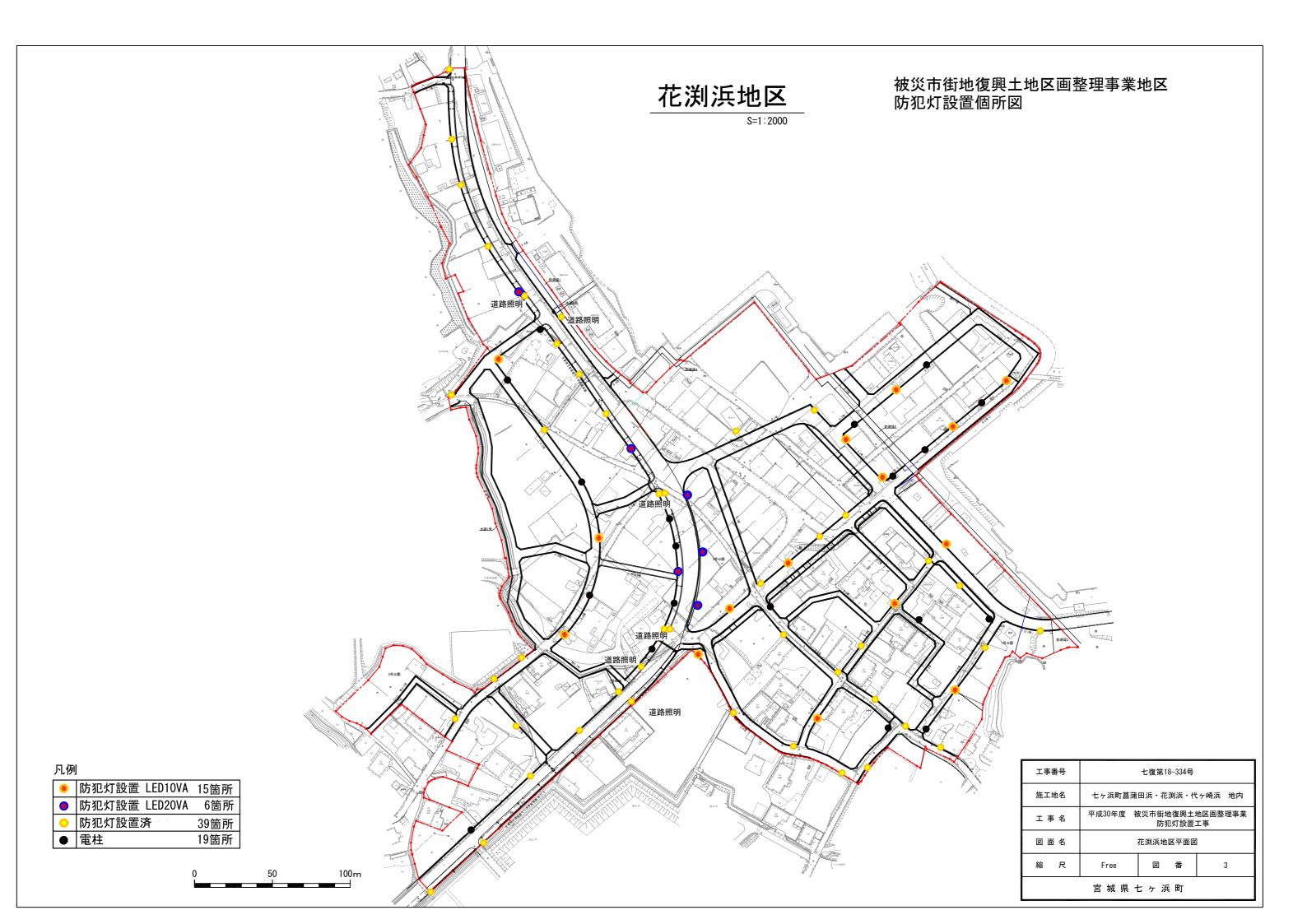


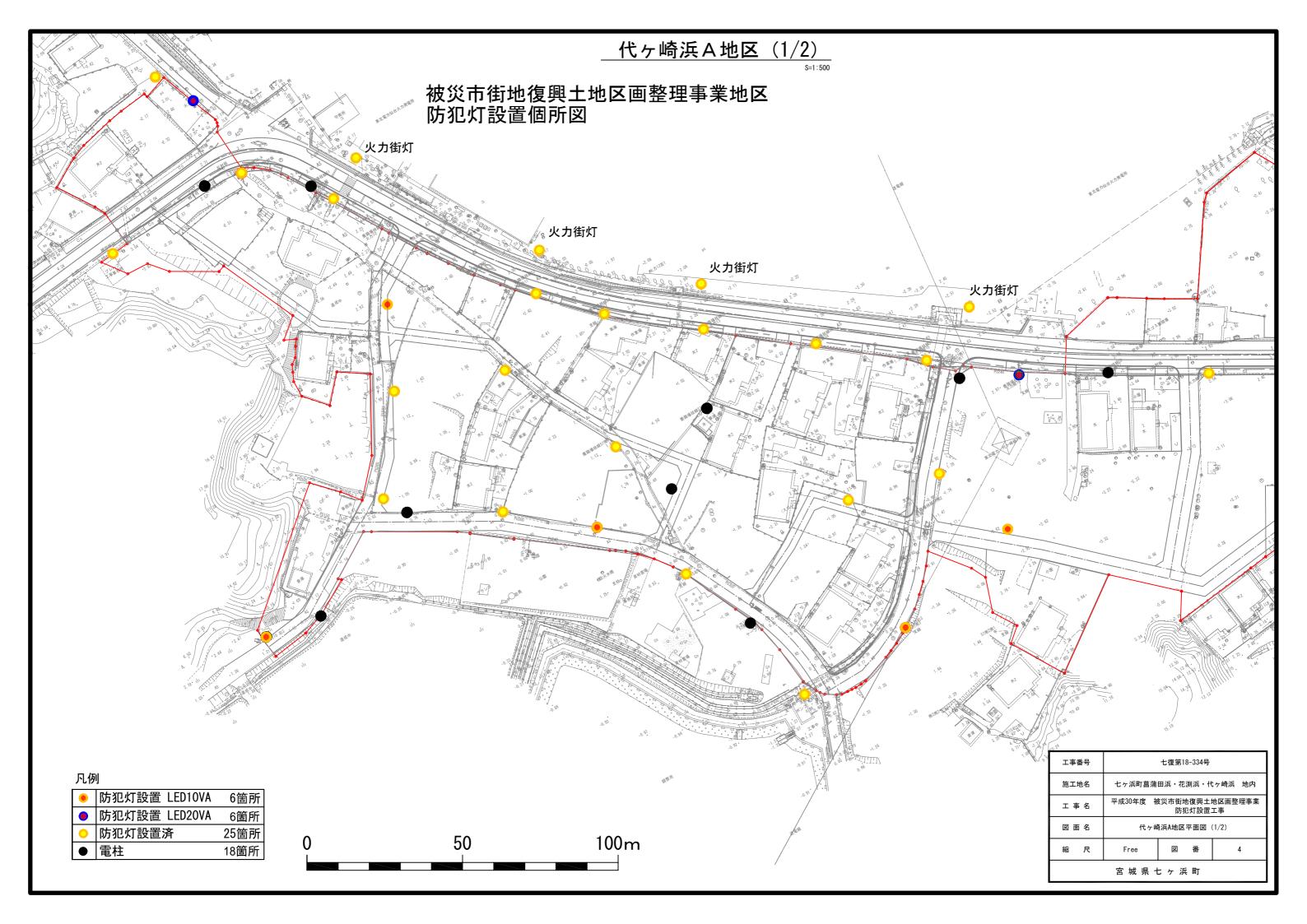


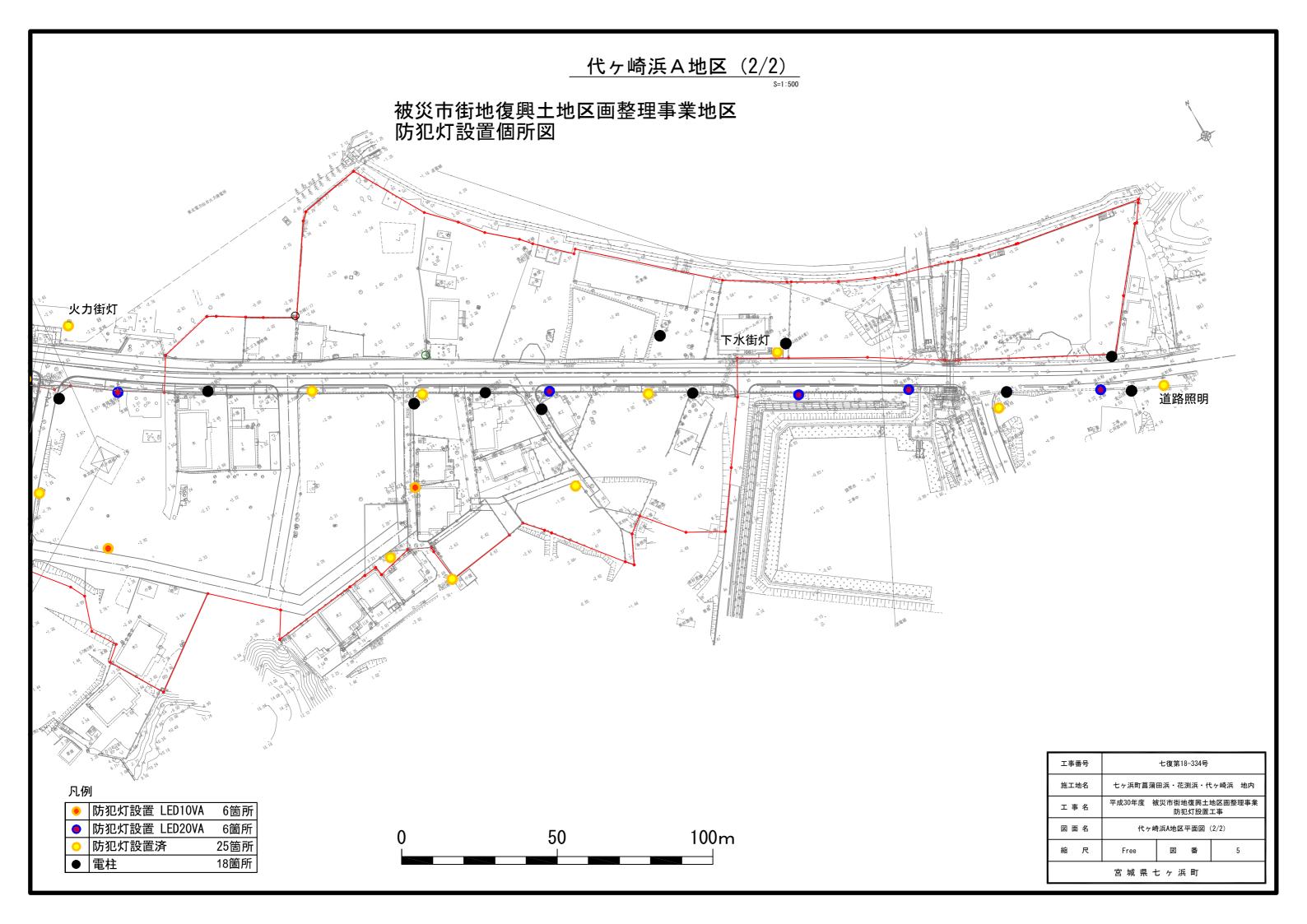
			S=1:20,000
(中)	(A)	展 展	San and an and an
地震 港 神経	が ・	生 選	上
		第一日 近 日 近 日 近 日 近 日 近 日 近 日 近 日 近 日 近 日 近	施工管所 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本
	PAPER PROPERTY AND ADDRESS OF THE PAPER PROPERTY AND ADDRESS OF THE PAPER PROPERTY AND ADDRESS OF THE PAPER PAPER PROPERTY AND ADDRESS OF THE PAPER PA	大田 1 1 1 1 1 1 1 1 1	五月田場 東京 大学
	## Camparate ###	日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	g 大著島

工事番号	七復第18-334号								
施工地名	七ヶ浜町菖蒲田浜・花渕浜・代ヶ崎浜 地内								
工事名	平成30年度 被災市街地復興土地区画整理事業 防犯灯設置工事								
図面名		位 置 図							
縮尺	1:20,000	図 番	1						
宮城県七ヶ浜町									



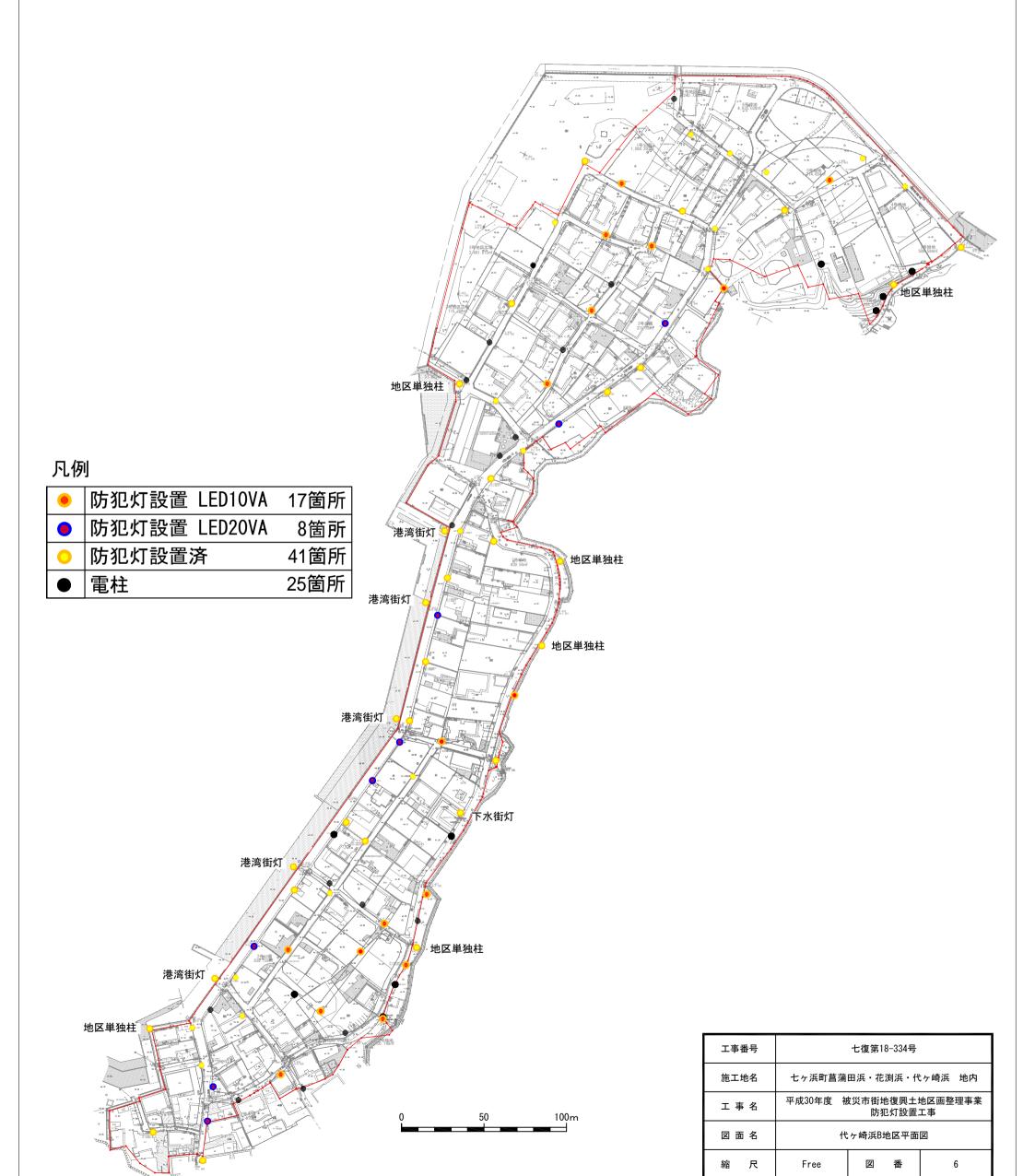






代ヶ崎浜B地区

被災市街地復興土地区画整理事業地区防犯灯設置箇所図



宮城県七ヶ浜町